

市役所機能再配置に関する 意見交換会

～誰もが利用しやすい市役所をめざして～



現在の市役所が抱える問題点

◆ 利用者に分かりにくい

- ・本庁機能が7箇所分散
- ・本庁組織の3分の1が本庁舎外に配置

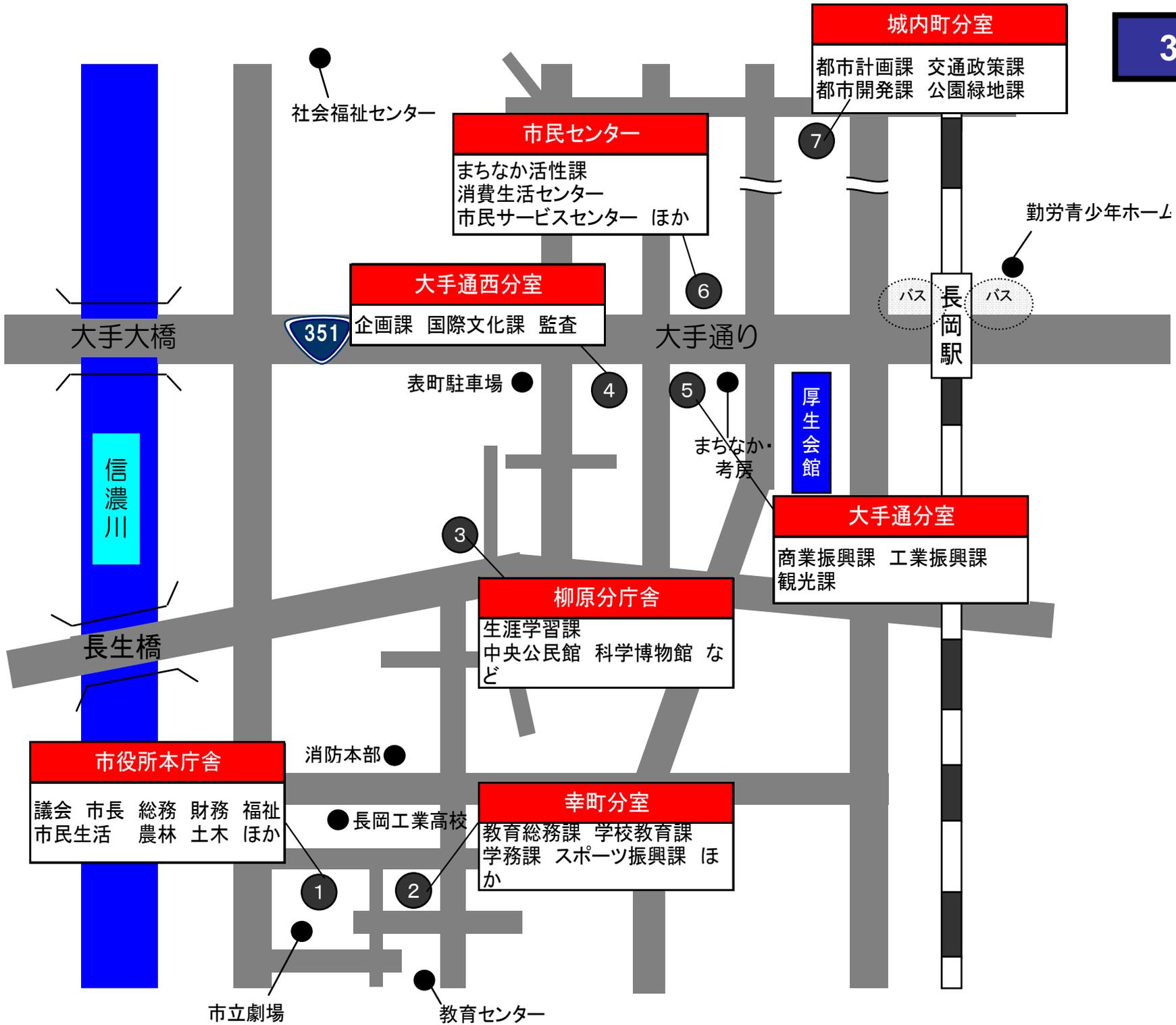


◆ 交通弱者に不便

◆ 耐震性の不安

- ・災害時には復旧活動を統括する対策本部を設置
- ・耐震基準の8割
- ・業務を継続したままの耐震改修には多額の経費が必要

◆ 柳原分庁舎(中央公民館)の老朽化

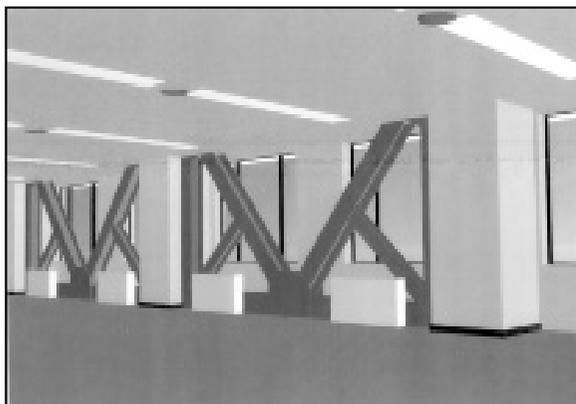


◆現本庁舎の耐震性

- ・平成8年の耐震診断結果＝耐震性は劣る
- ・3階以下は基準の80%程度＝耐震改修が必要

パターン	現本庁舎＝本庁舎として利用 (防災拠点としての強度が必要)	現本庁舎＝中央公民館等として利用 (一般公共施設としての強度)
特徴	業務をしながらの工事が必要	建物を空けての工事が必要
工法	【免震補強】	【耐震補強】
	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を地面から切り離し、クッションを設置 ・床面積、内外観を損なわない ・重要度係数1.25以上が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震壁、鉄骨ブレースの新設 ・床面積、窓面が減少（1階は特に） ・重要度係数は1.0以上が必要
コスト	約20億円	約5億円

〔鉄骨ブレース設置例〕



◆柳原分庁舎(中央公民館・科学博物館)の老朽化

- ・築50年経過
- ・中越地震の際にも大きな被害

〔被害の様子〕



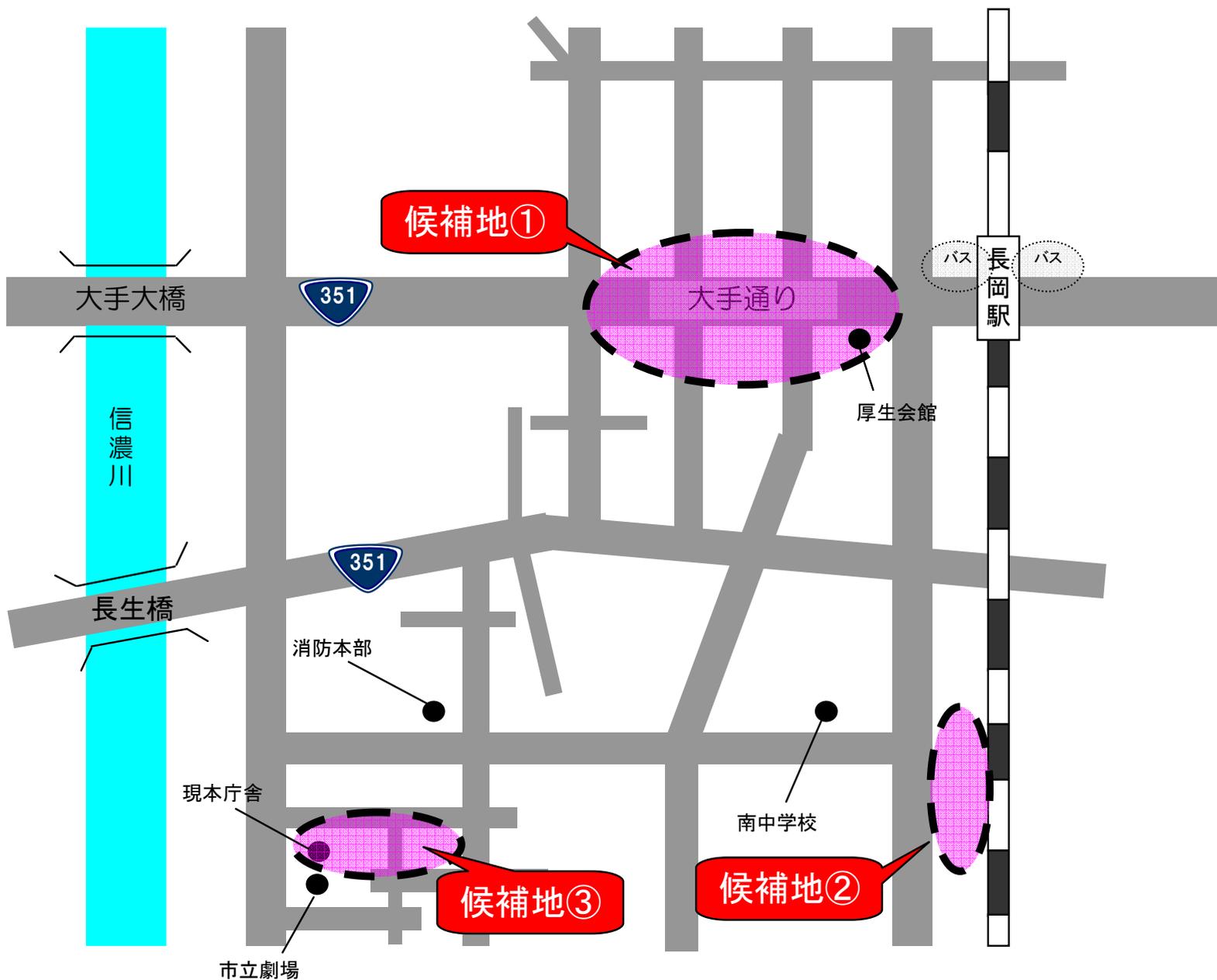
〔利用者の声〕

- ・駐車場が少ない
- ・教室数が少ない

市民委員会の検討方針

- ◆市域のどこからもバスなどで行きやすい**便利な市役所**や施設の配置を
- ◆市民との対話や、**市民サービス向上**を重視した組織配置を
- ◆既存の空ビルや国の補助金の活用、不要となった土地の売却などによる**徹底的な儉約**を

候補地の検討



◆候補地の特性

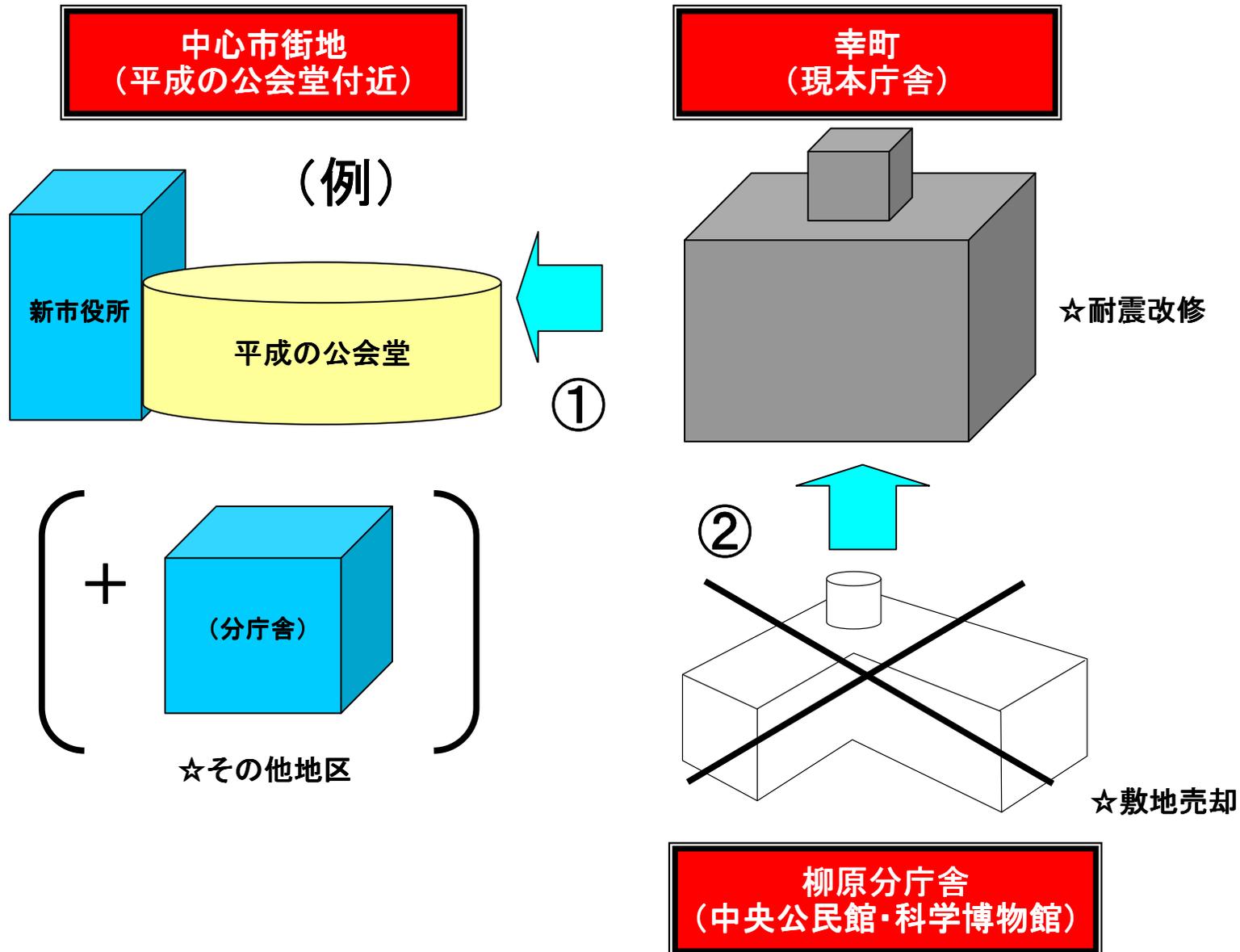
候補地	特 性
①中心市街地	<p>厚生会館地区整備や大手通地区再開発に庁舎を組みこむ</p> <ul style="list-style-type: none">・交通弱者の利便性・まちづくりへの効果・空きビルの一部利用・駐車場対策が必要・現庁舎は中央公民館などに転用可能
②長岡操車場	<p>土地開発公社から用地を取得し、長岡操車場地区に庁舎を整備</p> <ul style="list-style-type: none">・用地を取得する必要あり・シビックコア地区整備計画に影響あり・現庁舎は中央公民館などに転用可能
③幸町 (現庁舎)	<p>現在の庁舎の近くに第二庁舎を整備し、分散している機能を集約</p> <ul style="list-style-type: none">・中央公民館は別途建替え・現庁舎を使用しながらの耐震改修に多額の費用が必要

3候補地のコスト比較

候補地	中心市街地 (分割 または 一括)		長岡操車場地区 (一括集中)		幸町 (第二庁舎建設)	
	項目	コスト	項目	コスト	項目	コスト
支出分①	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎整備 ・駐車場対策 ・現本庁舎耐震改修 	105億円	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎整備 ・用地取得 ・現本庁舎耐震改修 	110億円	<ul style="list-style-type: none"> ・第二庁舎整備 ・柳原分庁舎建替 ・現本庁舎耐震改修 	75億円
節約分②	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり交付金 ・合併特例債(補填分) ・柳原分庁舎、幸町分室敷地売却益 ・現分室等賃借料 	分散なら ▲70億円 一括なら ▲60億円	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり交付金 ・合併特例債(補填分) ・柳原分庁舎、幸町分室敷地売却益 ・現分室等賃借料 	▲50億円	<ul style="list-style-type: none"> ・合併特例債(補填分) ・現分室等賃借料 	▲30億円
差引コスト①－② (市負担)		分割 35億円 一括 45億円	60億円		45億円	

※コストはいずれも概算であり、詳細な設計等に基づくものではありません。
 ※国庫補助等の制度を最大限活用することを前提としたシミュレーションです。

中心市街地における再配置のイメージ



「あらゆる地域から来やすいのは中心市街地」

◆市域のどこからもバスなどで行きやすい
＝車を使えない人も気軽に

◆市政の情報発信や対話機能は、市民の集まりやすい場所にある方がよい
＝市民と協働の政策形成の促進

“にぎわい”効果

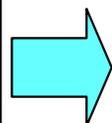
[例えば・・・]

- ◆職員と来庁者で、2000人規模の人が中心市街地へ・・・通勤途中の買い物や食事の需要が中心市街地で発生
- ◆市民活動の発表、観光物産展、展覧会などを行うイベント会場が近くにあれば・・・ついで効果により人の滞留・回遊(賑わい)が発生

「中心市街地でも駐車場の対応は可能」

〔市役所駐車需要〕 (来庁者用・公用車用)

- ◆ ピーク時期 400台
- ◆ 平常時期 300台



〔例えば・・・〕

- 新規整備(300台)
 - 既存駐車場(補助券)の活用
- ※新規整備分は、夜間や休日のイベント時などに活用が可能(+ α の効果)

〔他市の対応例〕

◆ 高崎市(290台整備)

- 来庁者 1時間無料。以後30分毎に150円
- 市役所での会議等必要な場合は3時間無料

◆ 新潟市(213台整備)

- 来庁者 30分無料。以後30分毎に100円
- 会議等必要な場合は無料対応

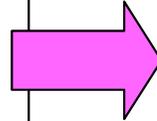
市民委員会の中間報告(まとめ)

- ★市役所本庁舎は、誰もが利用しやすい中心市街地へ配置されることが望ましい。
- ★コストを極力抑えながらも、長期間にわたり利用できる、市民の誇りとなるような庁舎を整備することが望ましい。
- ★庁舎は一括配置、分割配置どちらも可能であるが、まちづくりの観点から、最適な配置を検討する必要がある。

中心市街地の構造改革に関する提言

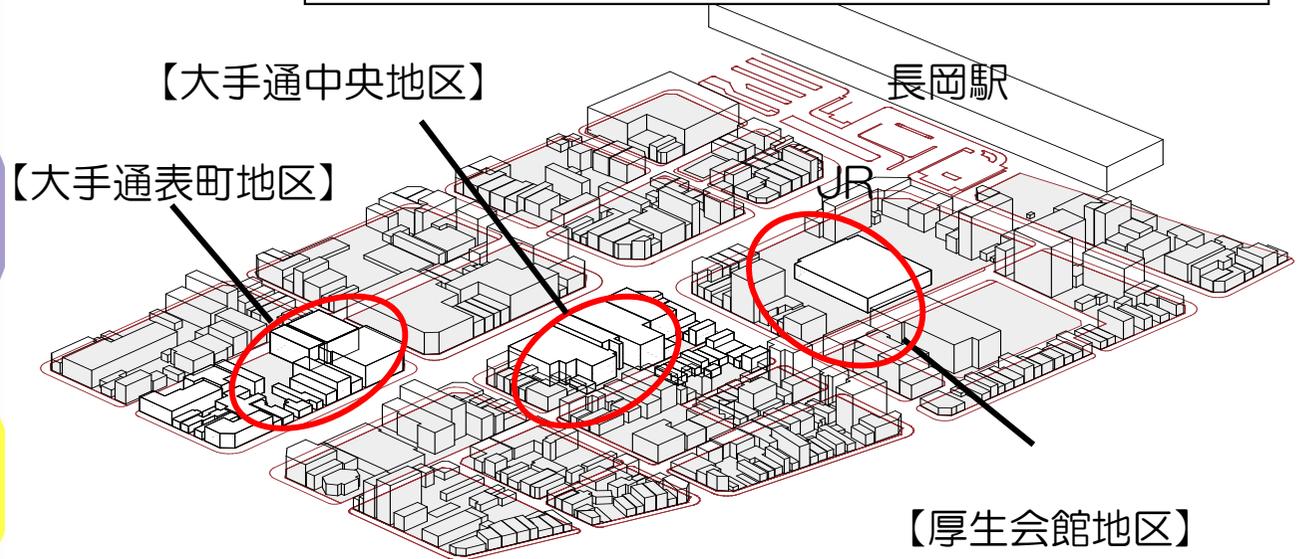
～中心市街地の位置づけ～

- ・公共交通機関の結節点
- ・これまでに蓄積された資産



郊外化による多極分散から 中心市街地への再集積へ

- ・市民にとって必要な機能を集積することで、長岡広域圏全体の活性化につながる



まちなか型公共サービスの幅広い展開
による中心市街地の新しい姿の実現

〔施設・機能導入の考え方〕

3地区が連携し、具体的な施設・機能等は柔軟に対応

中心市街地にある公共機能 (現在)

市民センター	戦災資料館	まちなか・考房
<ul style="list-style-type: none"> ○国際交流センター ○市民サービスセンター ○市民ギャラリー ○障害者プラザ ○イベント広場 ○男女平等推進センター ○ワークプラザ長岡 ○消費生活センター ○まちなか花火ミュージアム ○ちびっこ広場、ファミリーサポートセンター ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ○展示コーナー(空襲、体験者の思い、戦中・戦後の暮らしなど) ○市民活動コーナー ○図書、映像資料閲覧コーナー ○被災体験者の体験談 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティスペース(まちの話題など自由に話し合えるスペース) ○ギャラリースペース、PRコーナー ○チャレンジショップ ○タウンマネジメント事業活動拠点

ほか、今後計画されている公共機能

市民活動系施設	生涯学習系施設	子育て支援系施設
<ul style="list-style-type: none"> ○集会、コンベンション(式典、講演会、集会、品評会など) ○文化交流・学び(展覧会、講習会、作品展 など) ○スポーツ・レクリエーション(練習、大会、プロスポーツ観戦 など) ○市民活動支援(観光・イベント情報発信、サークル活動など) 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内学術機関との連携による防災、生涯学習メニューの提供(市民安全大学、まちなかサテライトキャンパス など) ○市主催講座、市民主体講座の開催 ○ビデオライブラリー、生涯学習情報提供サービス ○貸し教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○ちびっこ広場 ○まちなか保育園 ○ファミリーサポートセンター(交流・遊び、保育、子育て相談、情報提供、サークル支援、相互援助活動) <p>※市民センター4階にある機能の移転拡充</p>

※その他、現在中心市街地周辺に配置されている市民利用施設についても、建替え時などを捉え、中心市街地での立地を視野に入れて検討していく。
(例: 社会福祉センター、青少年文化センター、勤労青少年ホーム など)

市民委員会 会長コメント(抜粋)

- ◆「行政サービスと市民を密接に結びつけることができる、合併新市にふさわしい便利な市役所」
- ◆「建物ありきで考えるのではなく、市民が行きやすく、入りやすいという「サービス」のあり方を基本に」
- ◆「市民と行政が一体でまちづくりを」

意見交換の視点(はじめに)

これからの市役所のあり方について

[例えば・・・]

- ◆建物ありきではなく、市民が**行きやすく、入りやすく、利用しやすい**“サービス”を基本にした「**開かれた市役所**」
- ◆合併した**全市域の住民と協働**してまちづくりを進める市役所
- ◆市の顔となる**中心市街地の活性化**にも寄与する市役所
など